



鷲の宮卓話

対面活動の再開

太田敬雄

昨年9月に続き今年の2月に対面の「多文化交流 in ぐんま」を実施しました。コロナの状況を常に意識し、用心しながらの再開でした。大学生が中心になって企画・運営しますので、スタッフ経験者が居ない中での再開でした。コロナ前にスタッフを経験した若者たちはみんな卒業し社会人になってしまったからです。長年の経験から引き継いできた知見や資料を IIMS 職員の松原雄斗君が、押し付けにならないように細心の配慮をしながらスタッフの皆に伝えていく。それをベースに何とか群馬での交流を2回実施し、今年の8月に三度目の「多文化交流 in ぐんま」を実施します。今回は経験者と新スタッフが入り混じり、自信を持って企画作りを始めてくれています。

そして今、釜山での交流も再開を決定しました。以前と同様に釜山外国語大学の日本語学科生のサークル「のびのび」の学生が中心になってプログラムを考え、そこに日本の学生が加わって募集や参加希望者のオリエンテーションを担当する。ここでも、韓国のおよそほとんどの学生にとって「多文化交流」は全くの初体験。私は意を決して釜山まで行き、スタッフの学生達と話し合い、期末試験直後のお忙しい中、サークル顧問のジョン・ジョンミ先生、三國喜保子先生とは IIMS の多文化についてお話しさせていただきました。

文化の枠を超え、寝食を共にして楽しく過ごす交流の中で生まれる「友達」の関係が平和な地球社会を創る唯一の道だと確信しての多文化交流：多くの学生たちの準備と、皆さまのご理解とサポートのおかげで実現されます。



6月25日 上毛新聞



IIMS の会員になって平和な地球を目指す活動を支援してください

入会ご希望の方は、振込用紙に「入会希望」と記載の上、正会員は 3000 円、賛助会員 2000 円お振込みください。いずれの場合も入会金は戴いておりません。

総会報告

特定非営利法人国際比較文化研究所 2023 年度通常総会を 2023 年 5 月 27 日に開催しました。2022 年度事業報告、2022 年度会計報告及び監査報告、2023 年度事業計画、2023 年度予算の他、役員人事を検討し承認されました。※総会資料はこちらの URL からご覧いただけます。→ <https://x.gd/oopkc>

今年度は、海外理事として IIMS マラン事務局代表の菅ヶ谷マコ氏、国内理事としてオムニバス講座を開始当初から担当してくれている澁谷和代氏を新たにお迎えしました。パワーアップして、ポストコロナ時代を迎えることができること大変嬉しく思っています。

〈2023 年度役員〉

会長：太田敬雄 **理事長：**太田琢雄、**副理事長：**狩野真由美、
理事：荒井美幸、岩丸愛、金井美由紀、澁谷和代、
 岸綾夏、関千景、關橋賢、西佳名子
海外理事：菅ヶ谷マコ **顧問：**伊藤成、野口紀子
監事：幸田一彦、福田則行



法人名：特定非営利活動法人 国際比較文化研究所

貸借対照表

2023年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	14,087,199	
流動資産合計		14,087,199
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
【事】備品購入費	1,610,136	
車両運搬具	1,548,266	
減価償却累計額	-2,353,333	
什器備品	25,278	
有形固定資産計	830,347	
(3)投資その他の資産		
敷金	85,000	
投資その他の資産計	85,000	
固定資産合計		915,347
資産合計		15,002,546
II 負債の部		
1. 流動負債		
短期借入金	273,780	
未払金	2,160,505	
預り金	569,968	
所得税預り金	670,409	
事業関係預り金	32,465	
流動負債合計		3,707,127
2. 固定負債		
長期借入金	14,525,965	
退職給付引当金	765,000	
固定負債合計		15,290,965
負債合計		18,998,092
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		-1,673,559
当期正味財産増減額		-2,321,987
正味財産合計		-3,995,546
負債及び正味財産合計		15,002,546

多目的教育施設 Manapal & IIMS は設立から早 15 年目。「みんなちがってみんないい」を合言葉に、常勤・非常勤あわせ 20 名の先生たちが、生徒たちと向き合いその成長を支えています。ここ数年の「不安と革新の時代」を経て気づけたことは、どのような技術が台頭しようとも、人の心は心を求め、心が育てるのだということ。学びや経験の選択肢が急増する中、自分たちの使命と役割を確認しながら歩いていきたいと思えます。



99.9%は仮説 (竹内薫著、光文社)

読先案内人

「相互理解に基づいた、地球上には異なる正義感や価値観、生活様式を持つ多くの文化が存在する。過去の戦争を振り返ると、敵対する双方が平和を掲げ、「正義」を主張してきた。一方的に「平和」を叫んでも、平和は実現しない。

過去の記事はこちらから↓

思い込み捨て相互理解を

常識や前例、固定観念を捨て、スイッチを切り替える。本書は科学の事例で仮説を挙げ、権威をうのみせず、さまざま意見を相対的に比べて柔らかい頭で考える「仮説思考」を紹介する。仮説を意識すると、世界を見る目が変わり、人生を豊かにすると説く。

「相互理解に基づいた、地球上には異なる正義感や価値観、生活様式を持つ多くの文化が存在する。過去の戦争を振り返ると、敵対する双方が平和を掲げ、「正義」を主張してきた。一方的に「平和」を叫んでも、平和は実現しない。

【こちらも「推し」】
無人島に生きる十六人 (須川邦彦 青空文庫 P O D)

【こんな人におすすり】
何が正しいか迷っている

ことはそう伝えるべきではない。その線引きを曖昧にしてはいけない」との主張にも共感。分らないことを明確にすることが、学びへの自主性を育む機会になると信じている。(宮崎秀貴)

豊かで平和な地球をつくるをモットーに、NPO 法人国際比較文化研究所を 2000 年に立ち上げた。大学生が異文化への理解を深める多文化交流プログラムを国内外で実施。そうした活動と本書の考え方に「つながりを感じる」という。

NPO 法人
国際比較文化研究所長
太田 敬雄さん (81)

相互理解は思い込みを捨て、互いの違いを知り、受け入れること。すると相互の信頼が生まれ、「そこに初めて平和のために協働する地球社会が生まれる」。

大学や短大で長年教壇に立った。著者は最も悪い教え方を「分かったふり」と指摘する。分かっている

▲上毛新聞令和 5 年 6 月 4 日「読先案内人」
太田敬雄所長が愛読書を紹介▲

＜相互理解＞ ～記事掲載のご報告～

▼広報あんなか 5 月号「男女共同参画推進委員会」の
リレー・エッセイを太田琢雄理事長が執筆▼

男女共同参画推進委員会
第146回 リレー・エッセイ

「違う」を大切に。

安中市男女共同参画推進委員会委員
太田 琢雄

異文化理解のプロセスでは珍事がよく起こります。日本と海外の学生たちの交流促進を長年続ける NPO 法人国際比較文化研究所が、2007 年にはじめてマラン(インドネシア)で交流事業をした時の話も印象的です。初日の行程を終え、午前 9 時集合の約束で参加者たちは解散。翌朝、日本人参加者は全員 9 時に集まりましたが、マランのメンバーは誰ひとり現れません。慣れない異国で不安も募る中、マラン勢が登場したのは 1 時間後。日本人学生たちは、遅刻を謝りもしない彼らに不信感を抱きます。そうでしょう。日本では 5 分前行動が合言葉になるくらいです。しかしその後、共に時間を過ぎし語り合うことで、不信感は異文化理解に変わったそうです。「時間の物差し」が違うのだ、と。異なる尺度で彼らは各々 9 時の約束を守っていたのです。それを機に彼らは互いの時間軸を理解し、譲り合うようになったとのこと。両者の絆は 15 年経った今も続いています。不信感で終わらず良かったなと思います。

男女共同参画が目指すところは、人々の多様性や

多様な選択肢を認める社会の実現だと思います。私たちはアンコンシャスバイアス(無意識な先入観)の塊です。自分と違うものには壁を作り、警戒し、攻撃してしまうことも。この課題に取り組む方々が口を揃えておっしゃれることに、毎回はっとさせられます。「大切なのは話を聞くこと。耳を傾けること。」確かにそれが、自身の先入観や無知さを吹き飛ばす最速の方法かも知れません。相手の時間の物差しを知った学生たちのように、互いの真意を知れば、それだけで世界は少し平和になりそうです。

2 月に安中市が開催した男女共同参画推進講座にて坂本祐子先生は、「性差」や「男女の脳差」よりも、私たちが大切にすべきは「個人差」だとおっしゃられました。個人差を尊重しあう。それはマニュアルやルール作りよりもっと手前のところにある、人の心の相互です。不器用な私たちですから、全て理解し合うことはできないかもしれませんが、でも「自分と人が違う」という大前提くらい覚えていられるはず。「違うのだから、知ろう。」と意識し耳を傾けることはきっとできるはずです。

困市民課市民協働係 (☎内線 1027)

会費及びご寄付のお振込みについて：

【クレジットカードによる手続き】

下記 QR コード、もしくは IIMS のホームページから
アクセスして頂き手続き・ご登録ください。



研究所 (IIMS) のホームページ
<http://www8.wind.ne.jp/mthc>

【振込用紙による手続き】

郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所
口座番号 00510-1-61974

ニューズレターを郵送させていただいた皆様には、
振込用紙を同封させていただきます。これは請求書
ではなく、一律に皆様にお送りしているもので、す
でに会費をお振込み下さった方にもお送りしていま

メールでニューズレターをお送りしている方々には振込用紙をお届けできません。特に会費の請求はお送り
しておりませんが、郵便局の振込用紙、もしくはカードでお振込みくださいますようお願いいたします。
また振込用紙ご利用の場合、会費が寄付かを通信欄にご記入くださいますようお願いいたします。

入会及び会費・寄付振込状況 (23.3.11.~6.30) / カード振込 (23.3.1.~5.31)

会費のカッコ内は年度。カッコ無しの氏名のみは 2023 年度会費。敬称略

正会員入会：渋谷和代

賛助会員入会：坂田くるみ、荒井和子、遠藤稔、田中志乃。

学生会員入会：Mukhamad Akbar Ramadhan、Mohammad Rafi zulfikar、黒澤菜々子、
Jovanzach Toriq Kandita、Garin Cahya Perkasa、Nando Petra Setyo Prakoso、高橋依里、
中川溪也、小島大侃、Bayu Adhitama、田中結衣、矢口夢乃、戸塚由利理、宮脇春佳、大澤凜、
福澤莉聖、根本楓花、中澤拓夢、青山凜、永井美紗、堤華穂、山口桃果、
Julia Schmidt da Costa。

正会員会費：渋谷和代、伊藤成、高尾善樹、鈴木布美子、関橋賢、福崎結子、西佳名子、
関千景、根岸大輔、太田玲子、福田則行、狩野真由美、金井美由紀、野口紀子。

賛助会費：板垣剛、川口知幸(22,23,24)、鬼形聡子、荒井和子、熊倉浩靖、高橋美一、片岡謙、
村井田和夫、今井睦子、須山史枝、齋藤正幸、齋藤野乃、齋藤正典、関口澄 (22,23)、原啓太、
遠藤稔、丸山武子、吉村耕治、森泉孝行、木暮道子、岩本謙、大澤直子、坂田くるみ、井上萌、
森泉英司、千木良和子、小林慎樹、増山律子、梶原悦子、杉浦翔太、関橋理沙、斉木雄作、
中島愛、小坂景子、高山佳葉、Candy、藤本恵大、横井宏行、増井杏奈、ファン翠、正田智美、
山崎恵美子、金井優季、田中志乃、坂本隆幸、相川洋美、小原悟、青木洋子、岩井均。

一般寄付：伊藤成、高尾善樹、川口知幸、山縣英明、遠藤稔、石川力、今井睦子、齋藤正典、原
田直子、木暮道子、岩本謙、千木良和子、正田智美、新井瑞穂、狩野真由美、山村由美、金井美
由紀、土屋操、栗野明子。

まなべる寄付：板垣剛。 多文化交流寄付：梶山拓弥。

毎月寄付：ファン翠、樋本達之、福崎結子、根岸大輔、Rosdiana Febrianti、藤本恵大、
内野春香、片岡謙。

物品寄贈：木暮道子 (切手)、太田敬雄 (切手)。

編集後記：☆遅くなりましたが、6月発行予定の
NL がやっと出来上がりました。
☆ここに収められないチラシなどはメールアドレス
を頂戴している皆様には別途メールでお送りしま
す。届かない方は iims.since2000@gmail.com 宛に
メールアドレスをお送りください。
☆IIMS のこれまでの活動を振り返った冊子を準備し
ています。印刷経費・送料が整い次第皆様にお送り
する予定です。楽しみにお待ちください。(敬)

発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所
事務所：379-0124 群馬県安中市鷺宮 3413-3
電話：027-382-5998 FAX:027-382-6393
研究所：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>
メールアドレス：iims.since2000@gmail.com
まなべる：<https://www.manapal.jp>
メールアドレス：mail@manapal.jp
郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所
口座番号 00510-1-61974